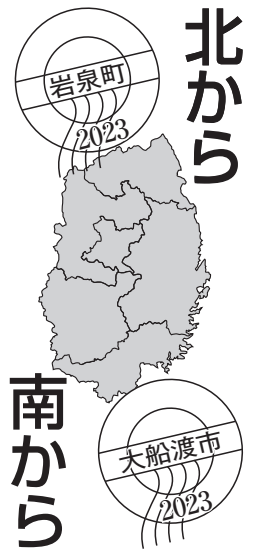


特色あるPTA



参加しやすいPTA活動をめざして

岩泉町立岩泉中学校PTA

岩泉には地域全体で子供たちを育む風土があります。保護者や地域の皆様の中には、休みの日に自家用車で校庭を整備してくれたり、草刈り機で除草をしてくれたりする方々がいらっしやいます。日

頃から我が子のことだけでなく生徒全員のことを考えて協力する保護者が多くとても心強いです。PTA活動の本来の姿が根付いていることを感じます。

しかし、近年は生徒数が減少しているにもかかわらず、専門部や役員の数が多すぎるのではとの意見も出されるようになりました。そこで役員会や理事会において、組織や会議日数の見直しを行うことになりました。

今年度は活動内容を維持しつつ、これまで事業を担ってきた専門部を廃止し、各学年PTAで仕事を割り振るようにしました。学年



親子で校庭の環境整備

PTAは生徒数の3分の1で構成され、どの保護者にも三年のうち一年間ずつやっていただきます。また、役員のポストを精選し、理事を半数にしました。会議の開催日数も約半分にまで減らしてみることになりました。

今回の試みがよかったか、やってみなければ分からない面もありますが、より気持ちよく参加できるPTA活動をめざし、保護者の皆様や教職員と意見を交わしながら取り組んでまいります。

(校長 鈴木雅孝)

「ぬくもりと輝き」のある活動をめざして

大船渡市立東朋中学校PTA

本校は、令和3年4月に赤崎中学校と綾里中学校が統合して開校した新設校です。高台にある校地からは広く大船渡湾が見渡せます。校訓である「切磋琢磨」は、生徒たちの磨き合いを示すものであると同時に、生徒第一を旨として、赤崎・綾里両地域の保護

者、地域の皆様が建設的に進めた統合の象徴でもありません。開校時はすでにコロナ禍であったため、PTA活動も限られたものとなっていました。そのような状況の中でも地域や保護者の協力を得て取り組んだことを二つ紹介します。



漁船に乗船して洋上研修をさせていただきました



講演会では竹内まりやさんの「いのちの歌」を披露

まずは、水産教室です。保護者が勤務する地元漁協の全面的なご協力を得て昨年度実施することができました。子供たちは、アワビの養殖施設の見学や漁業を生業とする方々の講演、漁船に乗船して洋上見学をさせていただくなど、普段の学校生活では経験できない貴重な体験をさせていただきました。

二つ目は、今年度のPTA総会や授業参観と同日に開催したPTA講演会です。PTA教養部の事業の一つとして行われました。かつて中学校長や陸前高田市教育長をされていた金賢治氏を講師にお招きし、「今、伝えたいこと、東日本大震災を体験して」というテーマで講演していただきました。当日は、会場の生徒や保護者、教職員の心に響く、前向きな気持ちや元気になるあたたかいメッセージを頂戴し有意義なものとなりました。

今後も地域からお力添えをいただきながら、保護者と教職員の連携をより強固なものにし、子供たちのために「ぬくもりと輝き」のある活動を継続してまいりますと考えています。

(事務局 高橋克巳)